

クラブ数・会員数の減少に関する意見・提案の取りまとめ

～クラブ活動をまるごと楽しみましょう! 幸齢者をめざして～

全国的に老人クラブの会員の減少が続くなか、全老連は、平成26年度から5か年の「100万人会員増強運動」を提唱し、市老連は2万人の増員をめざして、増強運動を進めてまいりました。残念なことに、この期間約2万2千人の減少に終わりました。

これを受け、①会員の皆さんにクラブや会員の減少の状況を報告するとともに、②皆さんからは、こうした状況に対するご意見やご提案をいただきました。

1. クラブ数・会員数の減少の状況

名古屋市の老人クラブは、過去最も多かった時期に比べて、クラブ数では61パーセント(1,281クラブ)、会員数では43パーセント(56,026人)に減少しています。(クラブ数と会員数は令和2年1月1日現在)

2. クラブ数・会員数の減少の主な原因

- ◎会員が高齢化し、会長をはじめとした役員のみが少なくなっています。
- ◎老人クラブの活動やその魅力がよく知られていません。
- ◎高齢者の活動や過ごし方が多様化し、とくに老人クラブに加入する必要がないのではないかと考える人が多くなっています。

3. 今後の取り組みのポイント

皆さんからはたくさんのご意見やご提案をいただき、クラブの運営やクラブの維持・存続、会員の増加にご苦労されていることを痛感いたしました。やはり「会員数の増加策に切り札はない」と思われます。

原点に立ち返り、まずはクラブ活動を楽しむ。そのためクラブの魅力向上や活性化をはかる。そして地域の関係者の方々の協力を得ながら未加入の方に対して繰り返しお誘いする地道な「声掛け」を継続していくことが大切であると考えます。



会員の皆さんには、「健康づくり」や「生きがいづくり」、「声掛け」をすすめていただきたいと思います。キーワードは、「幸齢者」と「楽しむ」です。皆さんには次のようなことをお願いしたいと思います。

(1) 近隣の皆さんへのあいさつや声掛けを気軽に行いましょう。

老人クラブは、知り合いであるご近所の皆さんの集まりです。活動範囲も徒歩で行き来のできる範囲が基本です。日ごろから、クラブ以外の方とも交流を大切にして、「老人クラブに入って、みんなで楽しくやりましょう」、こういった声かけやあいさつが自然にできる関係づくりが大切です。



(2) ご近所同士やクラブ内の助け合いを大切にしましょう。

お互いを思いやる気持ちが大切です。また、時には遠慮なくお世話になることも忘れないでください。「お手伝いしましょう」、「よろしく願います」が気軽に交わされるクラブがいいです。

(3) 健康づくりについて勉強し、この成果を実践しましょう。

身体機能や認知機能は、放置すればどんどん低下していきますので、意識的に勉強し、実践することが重要です。フレイル(虚弱)など老化のメカニズムやその防止策について勉強しましょう。市老連や区老連では健康に関する研修会や体育活動を行っています。積極的に参加しましょう。

(4) クラブ活動をまるごと楽しみましょう。

イベントの本番はもちろん、準備や打ち合わせ、おしゃべりなどまるごと楽しむことは充実したクラブ活動をおくる極意です。ランチやお茶会、飲み会も忘れないでください。準備や打ち合わせで、知恵を出したり、みんなで話し合ったり、少し苦労するのも楽しいものです。クラブ活動をまるごと貪欲に楽しみましょう。

(5) 未知のことにも興味を持ち続けましょう。

クラブ活動は多種多様です。活動の中で、知らないことや知らない人との出会いに魅力を感じることもたくさんあります。新たな出会いは、クラブ活動を飽きないで継続するためのコツです。また、好奇心をもつことは、脳の活性化に大変役に立ちます。

※皆さまから意見・提案等が291件寄せられました。市老連のホームページで閲覧することができます。